

鹿児島大学 海外インターンシップ・基礎研修プログラム

知能機械工学科 3年

安河内 秀和

私は、鹿児島大学主催で9月1日～9月16日に開催された海外インターンシッププログラムに参加し、Pixera Corporation というスタートアップの会社で3人で働かせていただきました。

Pixera Corporation はこのプログラムのオーガナイザーである井出先生の会社で、顕微鏡用カメラなどを開発・販売しています。

大きな会社では、企画部門・開発部門など細かく部署が分かれています。スタートアップの会社はすべて自分達で行わなければなりません。インターンシップの期間が約2週間ということで、多くある仕事の中から数個に絞って3人で分担しました。

今回の仕事の内容は、大まかにいうと『赤外線LEDを使い、顕微鏡で毛細血管を見る。』というもので、将来は、家庭で毛細血管の形などで病気を診断したり、もっと小さなものまで見て、早期発見・早期治療でき、医療費をもっと下げようというコンセプトからでした。

仕事の内容は、プロトタイプ製作、実験、マーケティングでした。プロトタイプ製作・実験はみんなで協力して行いました。この時、使った顕微鏡はすべて同じでしたが、カメラは3人とも別のものを使用し、カメラによってどのように見え方が違うのかも実験しました。

マーケティングでの僕の仕事は、競合他社調査というもので、今回の製品と同様の製品を製作・販売している会社と、その製品の性能、価格を見つけ比較し、また、その製品が企業・研究ように販売されているのか、または家庭用に販売されているのかを検討するといものでした。

実験では、1つのカメラで毛細血管のようなものを観察することができましたが、まだまだ試行錯誤が必要であると感じました。

また、ランチの時には井出先生からいろいろな話を聞くことができとても刺激になりました。

本当にこのインターンシッププログラムに参加できてよかったです。自分の夢が何で、その夢を叶えるために何をすべきであるのかを見つけることができたと思います。



井出先生、小早川さん、和泉さんと

インターンシッププログラムのあと、9月17日～9月25日まで海外基礎研修にも参加しました。この研修では、Apple, Google,などのシリコンバレーにある会社に訪問し、働かれている日本人の方の話を聞いたり、また、シリコンバレーで起業されて活躍されている方のレクチャーを聞きました。

また、San Jose State Universityの学生と『健康、教育、環境、経済、食糧、紛争』の問題についてディスカッションし、私は、環境グループのリーダーとして日米未来フォーラムでプレゼンテーションしました。こちらの大学ではプレゼンテーションが頻繁にあり、慣れているつもりでしたが、100人以上の人の前でするのは初めてだったので緊張して、いろいろとミスをしてしまい、まだまだいろいろと足りないと感じました。

ディスカッションではアメリカの学生と意見を交えることができ、とてもいい経験になりました。

基礎研修では、こちらでアメリカ人に混じって働いている方や、起業された方の話を聞くことができ、今までの自分の甘さを痛感しました。これからは、もっと厳しい状況に身を置いて自分ができることは何か、自分がしなければならないことは何かを見つけ、それに向かって努力します。

この1ヶ月での経験は本当に一生の宝になると思います。そして、このプログラムに参加していた、鹿児島大学、東京歯科大学、東京工業大学、青山学院大学の人と知り合いになることができいい刺激になりました。

最後に、このプログラムを企画して下さった井出先生、そしていろいろとお世話してくださった清田さん、本当にありがとうございました。



インターンシップ参加者と